

2000年夏(6~8月)の東北地方の天候(速報)

- ・夏平均気温は記録的な高温
- ・6、8月は記録的な少雨
- ・局地的な雷雨や短時間の大雨
- ・台風第3号による記録的な大雨・強風

2000年夏(6~8月)の天候(図1~2、表1~5)

今年の夏(6~8月)は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く、特に梅雨明け後は、一部で日最高气温の記録を更新する猛暑となった。このため、多くの官署で3か月平均気温が記録的な高温となった。また、6、8月は記録的な少雨であった。ただし、上空に寒気が入りやすく、大気の状態が不安定となって局地的な雷雨や短時間の大雨が頻発した。7月には台風第3号の影響で東北太平洋側を中心に大きな被害が発生した。

梅雨入りは東北南部は6月9日頃、東东北部は6月23日頃、梅雨明けは東北南部は7月19日頃、東东北部は7月27日頃だった。

平均気温はかなり高い。

降水量はやや少ない。

日照時間は東东北部で平年並、東西南部でやや多い。

気象官署ごとの気候表、順位更新表などは表1~5を参照。

6月：梅雨前線は日本の南岸に停滞することが多かった。このため、東东北部は前線の影響をあまり受けず、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。東西南部は、前線の影響を受け天気のがずつく時期と、影響を受けず晴天の続く時期があった。東东北部では上・中旬の降水量は平年をかなり下回り、5月半ばからの著しい少雨が続いた。

平均気温はやや高い。

降水量は東东北部でかなり少なく、東西南部でやや少ない。

日照時間は平年並。

7月：東北地方は、高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、台風第3号の接近や前線の活動が一時的に活発化したことにより大雨となる日もあった。特に、台風第3号は東北太平洋側の沿岸部に記録的な大雨や強風をもたらし、大きな被害が発生した。また、上空に寒気が入った影響で大気の状態が不安定となり、局地的な雷雨や短時間の大雨が頻発した。

平均気温はかなり高い。

降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。

日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや多い。

8月：東北地方は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く、記録的な少雨となる場所が多かった。また、上空に寒気が入った影響で大気の状態が不安定となり、局地的な雷雨や短時間の大雨が頻発した。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側でやや高い。

降水量は東东北部でかなり少なく、東西南部でやや少ない。

日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。

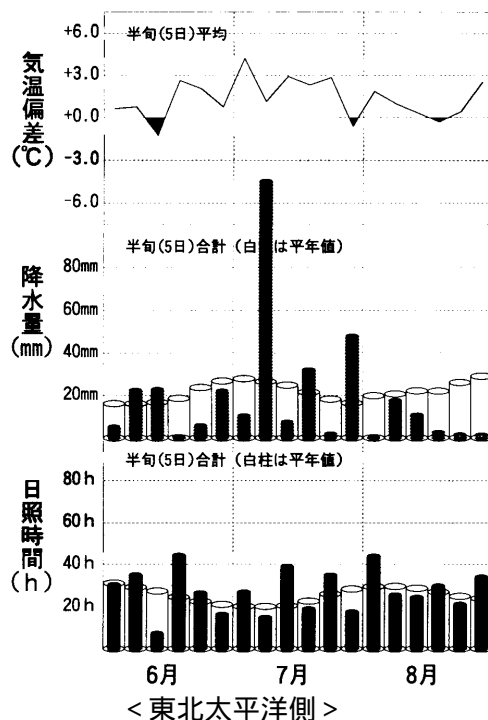
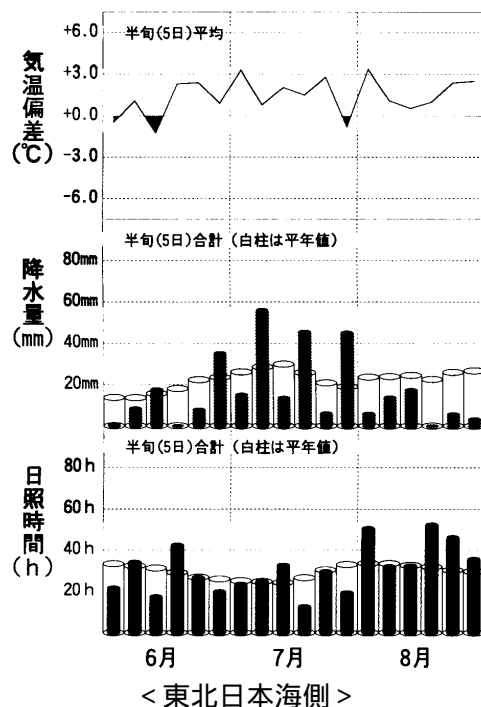
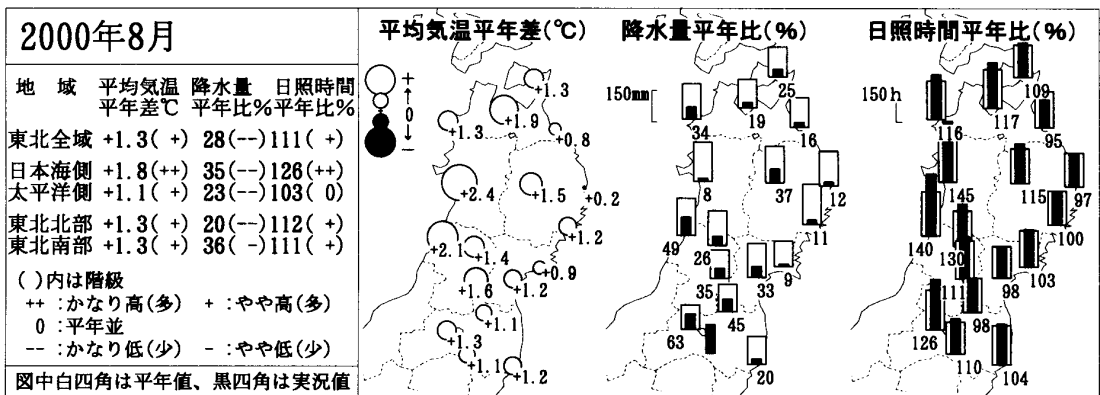
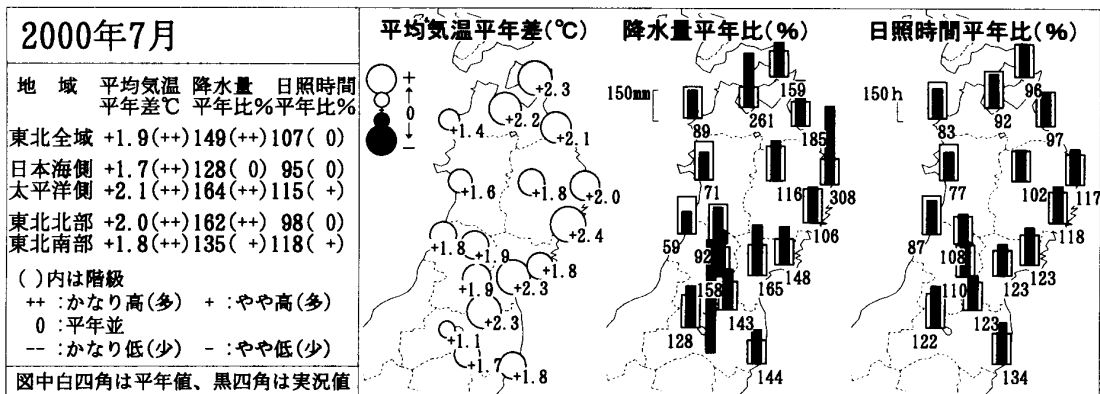
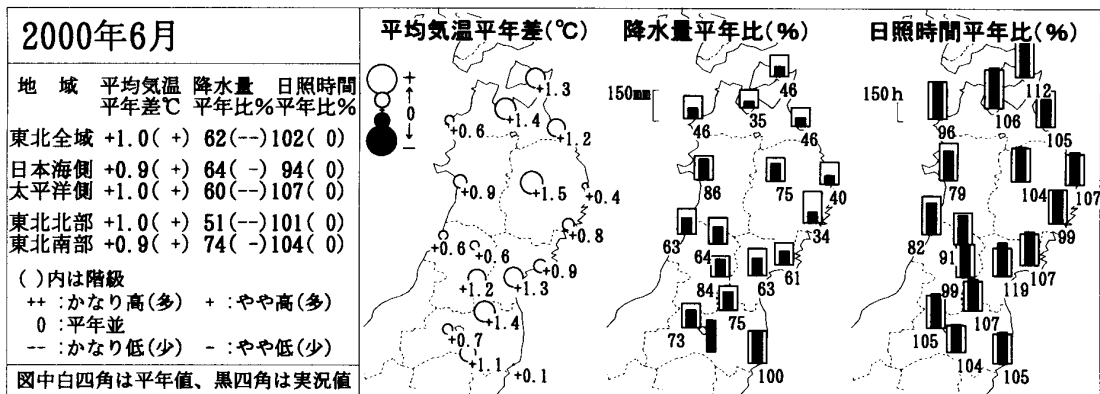
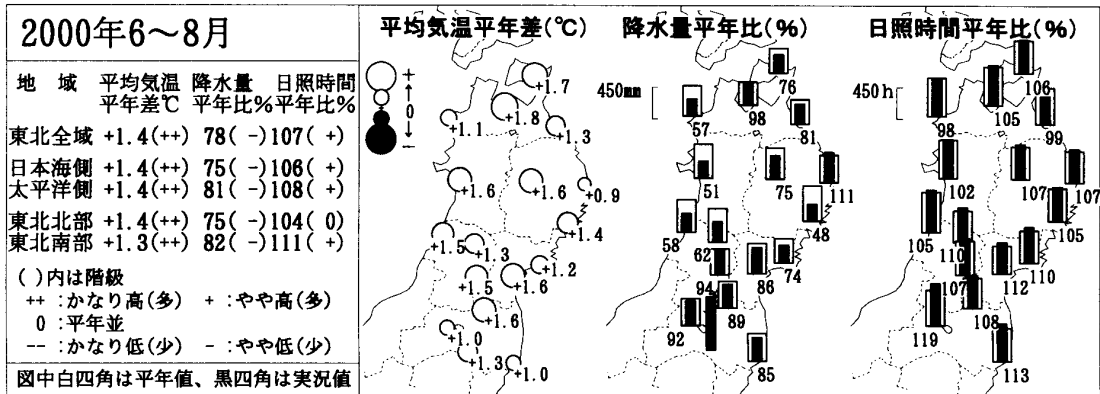


図1 地域平均した平年差(比)の時系列
(半旬毎)



平年値の統計期間は1961～'90年。但し酒田は準平年値(1971～'90年)、新庄は累年平均値(1986～'96年)を使用。白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので実況値を表す黒四角のみ表示する。

図2 東北地方における平年差(比)分布図(6～8月、平均気温、降水量、日照時間)

循環場の特徴（6～8月）（図3、図4）

今年の6～8月の500hPa平均高度場（図3）は、中緯度帯で広く正偏差、低緯度帯で負偏差となった。日本の南東海上にある亜熱帯高気圧は西への張り出しは弱かったが、北への張り出しは強く、東北地方は正偏差に覆われた。また、この時期に低温をもたらす要因のオホーツク海高気圧はほとんど現れなかった。このため、東北地方は晴れて気温の高い状態が続いた。

しかし、上空に寒気が流入しやすかったため、大気の状態が不安定となり、局地的な雷雨や短時間の大雨が頻発した。

今年の500hPaの高度偏差分布（図3）は、亜熱帯高気圧の北への張り出しが強く、西への張り出しが弱いという点で、昨年（1999年）夏（図4）と似ている。ただし、昨年夏は台風や熱帯低気圧に伴う九州の西の気圧の谷が今年より明瞭だった。

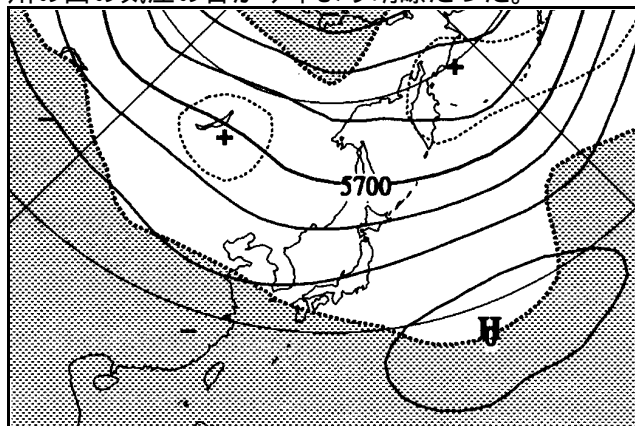


図3 今年（2000年）6～8月平均500hPa高度及び
 年偏差図

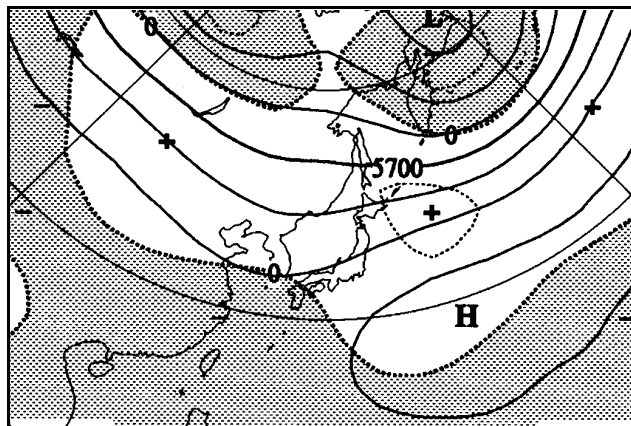


図4 昨年（1999年）6～8月平均500hPa高度及び
 年偏差図

陰影部は、平年より高度が低い領域 実線は高度（m）、間隔 60m 破線は偏差（m）、間隔 30m

台風について（図5）

今年の台風は、5月7日に第1号が発生し、8月31日までに13個発生している（平年14.6個、昨年13個）が、上陸したものはない。

7月3日に発生した台風第3号は、上陸はしなかったものの、7月8日に三陸沖を北上し、東北地方は太平洋側を中心に大荒れとなった。このため東北太平洋側沿岸では日降水量や日最大瞬間風速などの記録を更新し、各地で崖崩れや家屋の浸水、交通障害などの被害が発生した。

8月10日に発生した台風第9号は、関東沖を東北東に進み8月16～20日にかけては日本の東海上でほとんど停滞した。このため、東北太平洋側沿岸部では波の高い状態が続き、高波にさらわれ行方不明者がでるなどの被害が発生した。

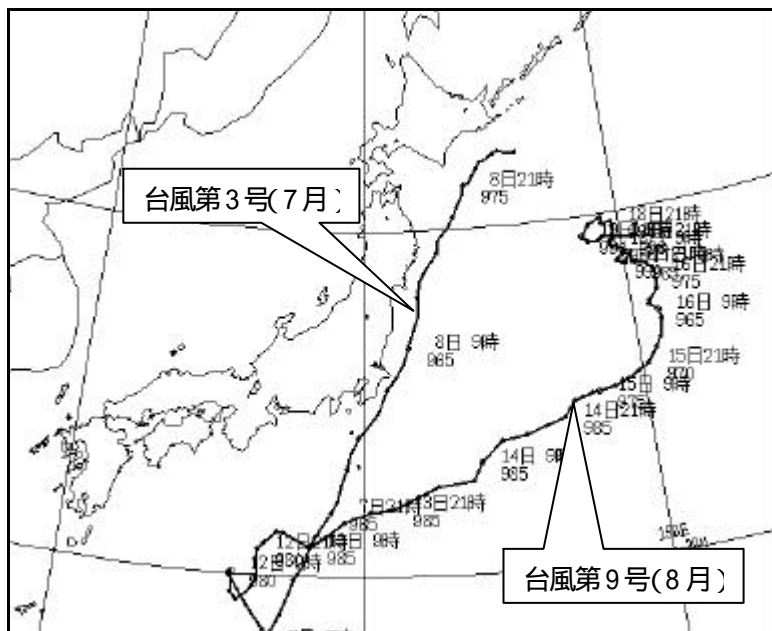


図5 台風第3号と第9号の台風経路図

表1 2000 年 夏 (6 ～ 8 月) の 気 候 表

地点名	平均気温 ()	平年差 ()	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	降水 日数 1mm	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
青森	22.0	1.8		319.0	98	o	15	581.8	105	o
深浦	21.7	1.1		247.0	57		19	538.4	98	o
むつ	20.6	1.7		284.5	76	-	22	517.9	106	o
八戸	20.9	1.3		288.0	81	o	16	514.4	99	o
秋田	23.5	1.6		250.0	51		21	571.2	102	o
盛岡	22.6	1.6		346.5	75	-	29	513.0	107	o
大船渡	21.8	1.4		249.0)	48)	-	15)	504.5	105	o
宮古	20.4	0.9	+	444.0	111	o	17	489.8	107	o
仙台	23.1	1.6		387.0	86	-	24	467.3	112	+
石巻	22.1	1.2		263.5	74	-	15	529.0	110	+
山形	23.9	1.5		360.0	94	o	28	538.3	107	+
新庄	22.8	1.3		301.0	62		24	505.8	110	
酒田	23.8	1.5		273.0	58		25	615.6	105	
福島	24.5	1.6		343.5	89	-	25	477.9	108	o
若松	23.6	1.0	+	363.0	92	o	27	615.4	119	+
白河	22.5	1.3		840.5	***		37	x	x	
小名浜	22.2	1.0	+	347.0	85	-	23	549.8	113	+

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

：かなり高い(多い) + : やや高い(多い)

o : 平 年 並

- : やや低い(少ない) : かなり低い(少ない)

「階級」の区分は、1961～90年の30個の各要素の値を大きい方から順に並べ、これを順番に3個(10%)、6個(20%)、12個(40%)、6個(20%)、3個(10%)の5つの群に分け、順にかなり高い(多い)、やや高い(多い)、平年並、やや低い(少ない)、かなり低い(少ない)の5階級を定義している。

資料年数が短く階級が決められない場合には、「階級」の欄を空欄とした。

2. 括弧付きの値は、欠測を含む値であることを示す。また、欠測が多く3か月の値を求められない場合は「x」とした。

3. 統計期間が短く平年値が作成できない地点は「***」で表示している。

表2 2000 年 夏 (6 ～ 8 月) の 順 位 更 新 表

3 か 月 平 均 気 温 高 い 方 か ら の 順 位 更 新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値
2	新庄	22.8	1.3	23.2 (1994)	1986	21.5]
	秋田	23.5 *	1.6	23.9 (1999)	1886	21.9
	盛岡	22.6 *	1.6	23.1 (1978)	1924	21.0
	仙台	23.1 *	1.6	23.6 (1978)	1927	21.5
3	大船渡	21.8 *	1.4	22.6 (1978)	1964	20.4
	むつ	20.6 *	1.7	21.3 (1978)	1935	18.9
	福島	24.5	1.6	25.2 (1978)	1928	22.9
	白河	22.5	1.3	23.0 (1994)	1940	21.2

3 か 月 間 降 水 量 少 な い 方 か ら の 順 位 更 新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	新庄	301.0	62	259.0 (1989)	1986	487.8]

(注) 1. 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「*」で表す。

2. 平年値は1961～1990年の30年間の値を平均したもので、24年以上の資料があれば平年値とな

3. 白河は統計期間が短いため1位に該当した時のみ示す。

4. 「]」が付いている値は、1976年～1986年の累年平均値を示す。

表 3 月の値の順位更新 (3位以内)

月平均気温の高い値			
月	順位	官署	値 ()
7月	2位	大船渡	23.2
		新庄	23.9
8月	3位	新庄	25.3

月降水量の多い値			
月	順位	官署	値 (mm)
7月	1位	白河	544.5
	2位	宮古	381.0

月間日照時間の多い値			
月	順位	官署	値 (時間)
8月	1位	新庄	220.2
	3位	酒田	300.6

月降水量の少ない値			
月	順位	官署	値 (mm)
6月	3位	青森	29.5
		八戸	41.5
8月	1位	新庄	44.0
		八戸	23.0
	2位	大船渡	22.5
		秋田	16.0
		宮古	19.5
		石巻	11.5
	3位	青森	26.0
		むつ	36.5

注) 白河の降水量は統計期間が短いため1位に該当した時のみ示す。

表 4 日の値の順位更新 (3位以内)

日最高気温の高い値				
月	順位	官署	値 ()	起日
6月	3位	新庄	32.2	30日
7月	1位	むつ	33.5	30日
		秋田	37.9	31日
		酒田	36.8	31日
	2位	福島	37.7	23日

日降水量の多い値				
月	順位	官署	値 (mm)	起日
7月	1位	青森	133.5	25日
		八戸	112.5	8日
		宮古	319.0	8日
		仙台	124.0	8日

表 5 日最高気温 30 以上の日数と今夏の最高気温 (内は通年の順位 (3位以内))

	6月			7月			8月			夏			今夏の最高気温()	
	99年	00年	平年	99年	00年	平年	99年	00年	平年	99年	00年	平年		
青森	3	0	0.2	8	5	3.8	20	11	7.3	31	16	11.3	34.2	8月1日
深浦	0	0	-	1	2	1.6	18	3	3.8	19	5	5.4	33.5	7月31日
むつ	0	0	0.0	5	5	2.2	13	5	3.4	18	10	5.6	33.5	7月30日
八戸	2	0	0.5	9	8	5.3	15	6	7.4	26	14	13.2	34.7	7月24日
秋田	0	0	0.2	11	8	4.7	21	28	9.4	32	36	14.3	37.9	7月31日
盛岡	2	4	0.6	11	8	6.3	20	19	10.2	33	31	17.1	36.2	8月1日
宮古	1	1	0.5	5	9	3.9	16	3	6.7	22	13	11.1	35.3	8月26日
大船渡	2	0	0.3	7	5	3.0	8	9	5.2	17	14	8.5	32.7	7月23日
山形	2	6	2.1	13	20	11.3	23	30	17.6	38	56	31.0	37.3	7月23日
酒田	0	1	0.7	11	9	6.1	23	27	12.0	34	37	18.8	36.8	7月31日
新庄	2	3	1.0	11	15	6.3	20	28	12.8	33	46	20.1	35.8	8月1日
仙台	0	0	0.6	10	10	5.1	15	17	10.0	25	27	15.7	34.9	8月26日
石巻	0	0	0.1	3	4	2.3	4	5	4.9	7	9	7.3	32.7	8月29日
福島	3	9	3.6	13	22	13.4	23	25	19.1	39	56	36.1	37.7	7月23日
若松	2	4	2.0	12	18	11.8	23	29	18.7	37	51	32.5	36.1	7月31日
白河	0	0	0.4	10	15	6.3	19	18	10.6	29	33	17.3	33.9	7月23日
小名浜	0	0	0.1	4	2	1.1	10	7	3.1	14	9	4.3	33.0	7月23日